

みんなで考えよう！

しがの流域治水

水害なんて、今でも起きるの!?

昔、しがは、水害だらけだった!?



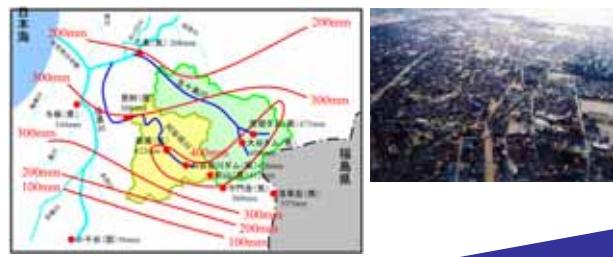
(写真)彦根地方気象台

…そして、川の工事やダムづくりが進み、最近は少しづつ、溢れにくくなってきました。



洪水は完封できない!?

川の工事もダムもできた刈谷田川(新潟県)。2004年、川もダムも頑張りましたが、氾濫を抑えられませんでした。



(出典) 新潟県ホームページ

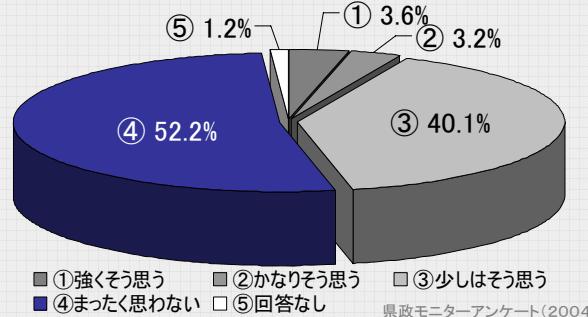
治水に完全はありません。

なのに、水害への備えは忘れられそうになっています。



堤防のそばや、水がたまりやすい場所でも、新しい街ができ、多くの人々が暮らし始めています。

Q) あなたは今のお住まいが、今後10年以内に、洪水による被害を受けると思いますか？



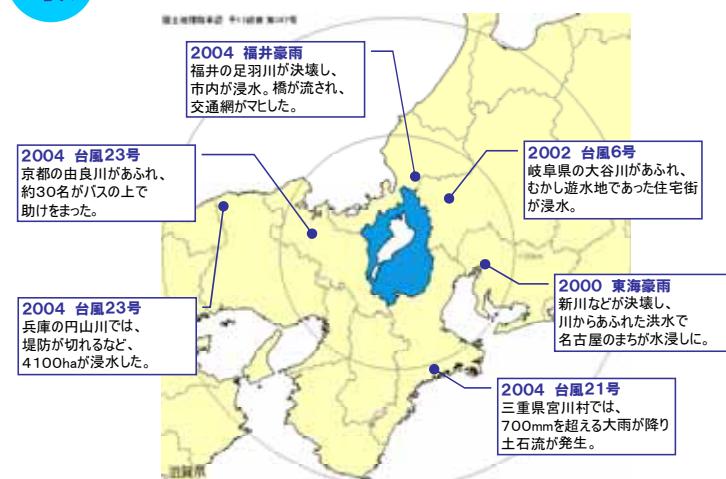
水害は地震よりも起こりやすい!?

川の工事がおわっても、今後30年で氾濫する可能性は、26%を超えています。

河川が氾濫する可能性	今後10年間	今後30年間
通常の改修が終わった河川 (年超過確率1/10で改修)	65.1%	95.8%
大規模な改修が終わった河川 (年超過確率1/50で改修)	18.3%	45.5%
大規模な改修が終わった河川 (年超過確率1/100で改修)	9.6%	26.0%
地震が発生する可能性	今後30年間	
琵琶湖西岸地震(M7.8)	0.09%～9%	

(地震に関するデータ) 文部科学省地震調査委員会長期評価部会

最近はなぜか台風が滋賀を避ける。



2000年以降も、周辺では大きな水害が発生。
なぜか滋賀だけ、川があふれるような大雨が降っていません。

これは まことに！

まずは“知ること”、
そして、ためらわずに“逃げること”



水害体験の聞き取り・伝承

地域の水害について教えてください。

子供の頃にはこの地域でも大きな水害があったが…

水防訓練



洪水ハザードマップ



(出典) 彦根市ホームページ

河川情報



災害保険



輪中堤・二線堤・水害防備林

土地利用誘導

輪中堤
嵩上げ

霞堤
二線堤

水害
防備林

川からあふれ出す流れを弱める工夫。

たとえ氾濫しても、みんなで助け合い、誰も命を落とさない、そんな地域社会をつくること、それが しがの流域治水

出前講座やってます！

子どもたちに地震のこと、水害のこと、土砂災害のこと知らせていますか？災害の話はあまり楽しい話ではありません。けれども、今、きちんと伝えておかなければ、子どもたちは危険を知らず無防備なまま、そこで暮らし続けることになるのです。

出前講座でお話できる内容

- わたしたちの地域ってどんなところ？～川から見た地域の特徴～
川の恵みと地域の暮らし、川の自然・生き物、雨が降って洪水になるしくみ
地域の水害・洪水対策の歴史、水害の起きやすい場所
- いざ水害、自分と家族をどうやって守るのか？～水害にそなえる基礎知識～



子ども向け出前講座もあります。
子どもは10年後のあなた。
未来を生きる子どもたちに
“水害への備え”残しておきましょう。



滋賀県流域治水政策室

〒520-8577 滋賀県大津市京町 4-1-1(県庁新館4階)
電話番号: 077(528)4290

電子メール: ryuiki@pref.shiga.lg.jp

ホームページ: <http://www.pref.shiga.jp/h/ryuiki/index.html>